

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月18日更新

事務事業名		給食費徴収事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input checked="" type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4 みんな元気で笑顔あふれるまちづくり				所属部	教育部
	施策	20 義務教育の充実				所属課	学校教育課
	基本事業	63 食育の推進				所属班	学校給食班
予算科目	会計一般	款10	項6	目3	事業連番11567	法令根拠	学校給食費口座振替事務取扱要綱 学校給食費口座振替に係る個人情報等
							学校給食費口座振替事務取扱要綱 学校給食費口座振替に係る個人情報等
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 23 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)	

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	学校給食費納入の利便性を考慮し、市内全児童・生徒の学校給食費の納入を口座振替とする。また、滞納整理を行う。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①4月に小学校新1年生及び転入生から口座振替依頼書の提出→全児童・生徒の口座登録完了→金額の入力→収納代行業社へ口座振替依頼。②5月より口座振替開始(4.5月分を5月に振替、翌年2月までの11ヶ月) ※滞納者のについては、電話及び訪問による督促等により適宜滞納整理を行う。
【主な予算費目】	時間外勤務手当、役務費、委託料、使用料及び賃借料
【意見や要望】	学校及びPTAから未納対策の充実が求められている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	全児童・生徒の口座登録を完了し、学校給食費の口座振替を開始した。また、滞納者への督促、催告、戸別訪問等の滞納整理をした。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 小学校新1年生及び転入生の口座登録を完了し、学校給食費の口座振替を行う。また、滞納者への督促、催告、戸別訪問等の滞納整理の強化。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)予算の主な増減の理由 →ア:新入生・転入生(A)の内、口座振替登録を行なわない者(B)の割合 %	時間外勤務手当の増額。通信運搬費の減額。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等保護者	(単位)②対象指標(対象の大きさを表す指標) →ア:全給食費額(A)中、滞納額(B)の割合。 %	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 給食費納入の利便性の向上による滞納率の向上。	(単位)③成果指標(意図の達成度を表す指標) →ア:滞納者世帯数 世帯	
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠 滞納者が増加する傾向にあることから設定した。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込
①活動指標	ア %		0	0	0	0	0	0	0	0
②対象指標	ア %		0	0	0	0	0	0	0	0
③成果指標	ア 世帯		0	0	0	0	0	0	0	0
投資入費量	財源内訳	千円								
	国庫支出金	千円								
	都道府県支出金	千円								
	地方債	千円								
	その他	千円								
	繰入金	千円								
	一般財源	千円	633	212	272	268	294	294	294	294
(A)事業費計	千円	633	212	272	268	294	294	294	294	
(A)のうち指定経費	千円	87	92	164	160	191	191	191	191	
(A)のうち時間外、特勤	千円	87	92	164	160	191	191	191	191	
人件費	正規職員従事人数	人	0	3	2	3	2	2	2	
	延べ業務時間	時間	0	2,900	2,000	3,000	2,000	2,000	2,000	
	(B)人件費計	千円	0	11,553	7,968	11,952	7,968	7,968	7,968	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	633	11,765	8,240	12,220	8,262	8,262	8,262	

事務事業名	給食費徴収事業	所属部	教育部	所属課	学校教育課
-------	---------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

<p>(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善(公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>																						